

資料1

令和7年度第1回蕨市総合教育会議 「ICTの効果的な活用」

令和7年10月24日（金）

蕨市教育委員会教育部学校教育課

目次



- 01 授業におけるICT活用**
- 02 ICTを活用した業務改善の実際**
- 03 ICTスキル向上研修**
- 04 端末更新のスケジュール**
- 05 成果と課題**

授業における ICT活用



協働的・対話的な学びの促進



協働的・対話的な学び

児童生徒間の意見共有や共同編集により、多様な視点から学びを深めることができます。思考の可視化によって対話が活性化し、より深い学びへと発展します。



多様なコミュニケーション

動画や画像、テキストなど様々な表現方法を通じて自己表現や意見交換が可能になり、コミュニケーション能力の向上につながります。



ICT環境の活用

DXルームなどの環境を活用することで、機器を活用した対話や多様な学習形態を実現し、より豊かな学びの場を提供できます。

主な活用ツール

プレゼンテーションソフト 協働しながらプレゼン資料やポスター作成

Googleドキュメント

リアルタイムでの共同編集、意見交換

Googleスライド

授業支援ソフト

児童生徒間の意見を共有、思考の可視化

デジタル掲示板ツール

動画による意見発表、自己表現

授業における ICT活用

個別最適な学びの推進

デジタルドリルの活用



児童生徒の習熟度に応じた反復学習を行います。

一人ひとりの理解度に合わせた問題を選択することにより、自分のペースで学習を進めることができます。



デジタル教科書やQRコードの活用

動画や補助教材へスマートにアクセスでき、学習内容の理解を深めることができます。



ディジー教科書の活用

識字障害や日本語指導が必要な児童生徒への支援に効果的です。

文字の拡大縮小、ハイライト表示、音声読み上げ機能など、多様な学習ニーズに対応します。



01

授業における ICT活用

DXルームの活用



01

授業における ICT活用

メディアリテラシーを身に付けるために

外部指導者の活用・Netモラル教材の活用
文科省や埼玉県警の動画の活用・わらびモデル
健やかメディア・SNSの利用制限



教材

情報化社会の新たな問題を考える動
画教材（教材⑯ その情報、広めて
大丈夫？ SNS拡散編）（中学生）

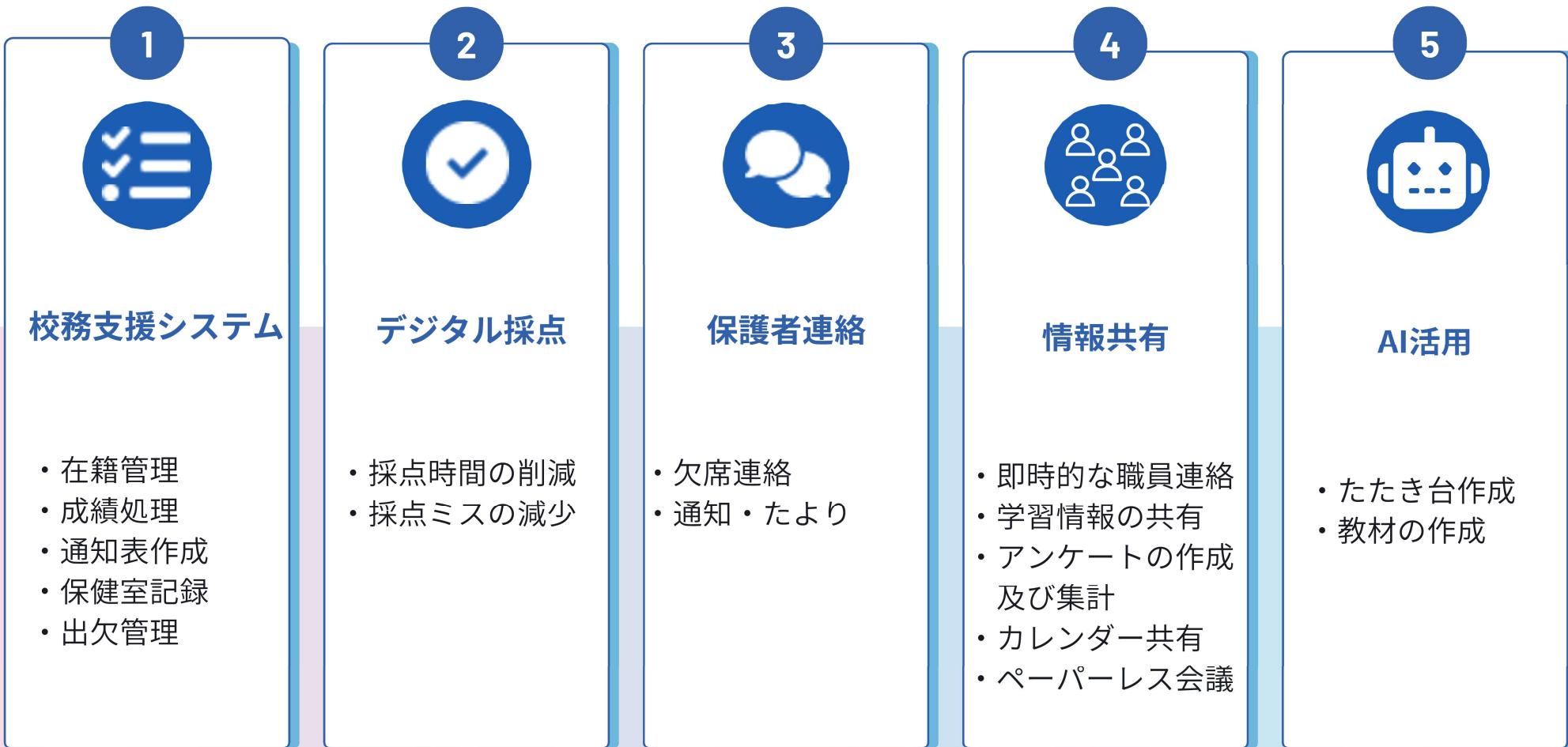
掲載元：文部科学省

わらびモデル（ICTスキル体系表）

スキル項目		★…重点指導 …活用									
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
情報モラル	15-5	問題解決するために適切なプログラムを制作できる（例：WeDo2.0）				★	●	●	●	●	
	15-6	双方向性のあるプログラミング						★	●	●	
	16-1	IDパスワードの管理	★	●	●	●	●	●	●	●	
	16-2	タブレットの使用ルールを守る	★	●	●	●	●	●	●	●	
	16-3	ネット上のトラブル初級（悪意のある人物）やサイト	★	●	●	●	●	●	●	●	
	16-4	ネット上のトラブル中級（SNSや課金、写真動画投稿）	★	●	●	●	●	●	●	●	
	16-5	ネット上のトラブル上級（情報技術の特性）			★	●	●	●	●	●	
	16-6	肖像権初級（撮影時のルール）	★	●	●	●	●	●	●	●	
	16-7	肖像権中級（写真や動画の公開）		★	●	●	●	●	●	●	
	16-8	肖像権上級（違法行為を理解する）			★	●	●	●	●	●	
	16-9	著作権初級（著作権について知る）		★	●	●	●	●	●	●	
	16-10	著作権中級（正しく引用する）			★	●	●	●	●	●	
	16-11	著作権上級（違法行為を理解する）				★	●	●	●	●	

ICTを活用した業務改善の実際

教員の負担軽減と教育の質の向上を両立するICTツールの効果的活用

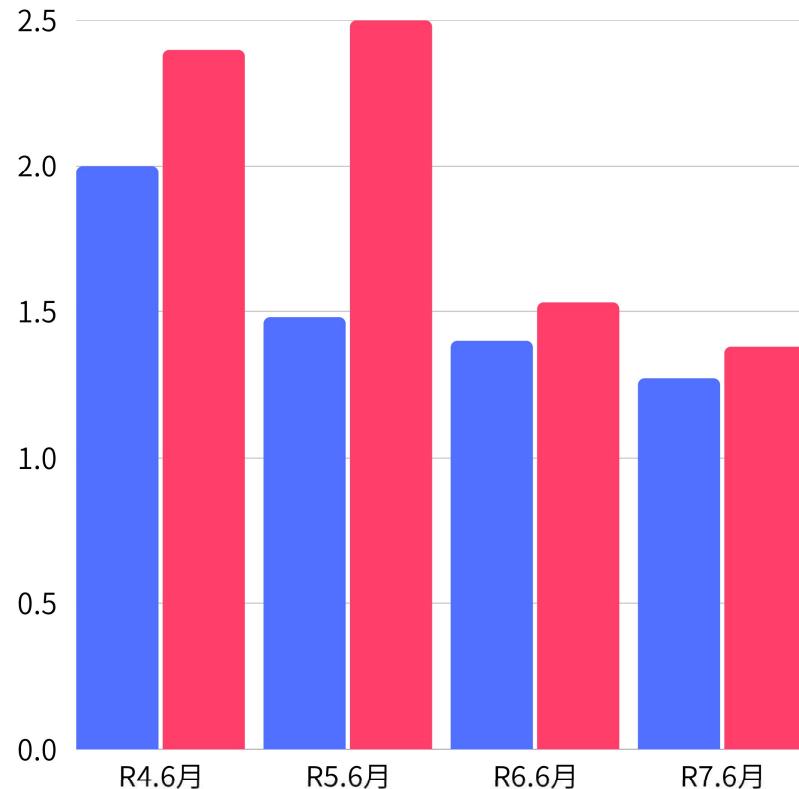


ICTを活用した業務改善の実際

導入効果



在校時間の短縮(青 : 小学校 赤 : 中学校)



ペーパーレス化の推進

Google ドライブ等のクラウドサービス活用により、印刷コスト・印刷時間の削減と情報共有の迅速化を実現



AI活用による業務効率化

Google Geminiなどを活用した資料作成やアイデア出しにより、教材準備時間を短縮し、業務の質の向上を実現

ICTスキル向上研修



ICT支援員によるサポート

授業や校務での技術的なサポートを行い、教員のICT活用を現場レベルで支援。個別の技術的課題に対応し、効果的な機器活用の方法を提案します。



ワーキンググループの活動

教科横断的な知見の共有と活用事例の創出を目的とした教員グループ。定期的な研修で市の課題について話し合ったり、実践例を共有し、新たな活用方法を開発・普及させたりしています。



オンライン研修の充実

場所を選ばず受講できるオンライン勉強会や、学校の実情に合わせた校内研修を実施。活用事例の共有とフィードバック、実践的なスキルアップを図ります。

03

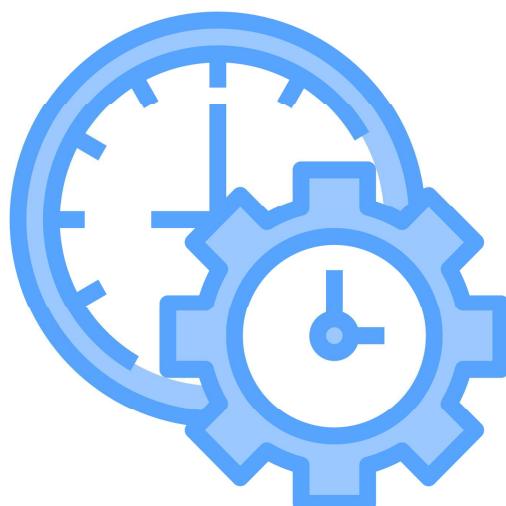
ICTスキル向上研修

ICT活用指導力向上
ワーキンググループ



教員研修

04



端末更新のスケジュール

5月

入札

埼玉県による入札で業者決定
決定業者と蕨市とで仮契約

6月

契約

市議会での議決後、本契約

10月

納入

各学校に端末を納品
新端末の活用

令和8年度

廃棄

令和2年度購入端末の廃棄処分

成果と課題



成 果

- 端末の日常的な活用の定着

毎日活用している学級の割合

R4：約 40 % ⇒ R6：約 60 %

(全国学調質問紙より)

- 協働的・対話的な学びの推進
- 教員の在校時間の削減

小学校（-33分）

R4.6月：2時間00分 ⇒ R7.6月：1時間27分

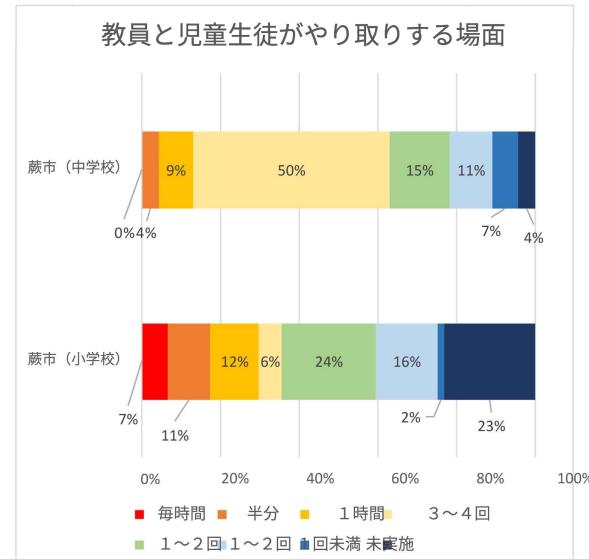
中学校（-26分）

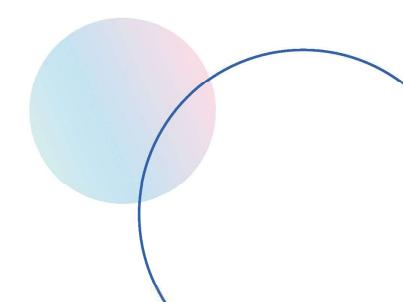
R4.6月：2時間04分 ⇒ R7.6月：1時間38分



課 題

- 学校間、教員間での活用の差
- 教育DX化の推進
- 児童生徒間で交流する場面の不足





ご清聴ありがとうございました